

「体験型林業・木材講座」の開催（その1）

1 はじめに

久慈地方の林業・木材産業では、新規就業者の確保が課題となっています。しかし、林業・木材産業は、他産業に比較して認知度が低いこと等から、求職者の就業対象として選択され難いという現状があります。

そこで、高校生の林業・木材産業への興味や理解度の向上を目的に、地域経営推進費事業により「体験型林業・木材講座」を開催しました。

今回、その講座概要と講義内容について紹介します。

2 講座の概要

- (1) 主催：県北広域振興局林務部
- (2) 対象：久慈東高校2年生
森林生態科目群専攻者17名
- (3) 内容

月日	実施時間	内容
6/21	約1時間	講義 ・産業の概要
6/27	約3時間	体験※ ・林業機械操作体験 (丸大県北農林伐採現場)
6/30	約3時間	・製材機械等操作体験 (マルヒ製材工場)
7/1	約1時間	講義 ・体験の振り返り

※体験：対象者17名を2班に分け、27日と30日の2日間を通じて、全員が林業機械と製材機械等の操作を一通り体験できるように設定。

3 講義の内容（6/21、7/1）

対象となる高校生は、林業・木材産業を勉

強し始めた段階であったため、講義の原稿作成においては、平易な言葉を用いること、写真を多用しイメージをつかみやすくすること等に留意しました。

講義の内容は以下のとおりです。

- (1) 6/21の講義内容（林業の概要）
森林の働き、林業における岩手県の順位、久慈地域の特徴、林業の流れ、昔と今の違い
- (2) 7/1の講義内容（体験の振り返り）
操作体験した機械や作業の確認、今の林業の現状、林業のあるべき姿、林業の重要性

4 アンケート結果

講座終了後のアンケート結果を示します。

- (1) 講座に満足した：100%
- (2) 林業・木材産業に興味を持った：76%
- (3) 林業・木材産業を理解できた：94%
- (4) 林業・木材産業への就職：
「強く」希望するが1名（実施前は0名）

5 おわりに

機械等の操作体験の詳細については、次号で紹介いたします。



写真 講義の様子